

第50回全日本社会人選手

9・9～11 新青森県総合運動公園体育館(マエダアリーナ)

果たして初優勝
森蘭美月が雪辱を



Women's Singles

女子シングルス優勝
森蘭美月(サンリツ)
豪快な両ハンドで3球目攻撃やカウンターで圧倒した
「昨年2位でそれから苦しい時期が続きましたが、やっと優勝出来たので本当に嬉しいです。応援してくださった三浦会長、近藤先生、チームの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。準々決勝で対戦した田代さんには今まで勝つことがなかったので、気持ちで負けてはいけないと臨んだのが良かったです。練習でも出したことのないサーブを出してみたら、良い展開が作れたので、戦術の幅が広がったのがよかったです。永尾さんは身長が高くパワーも回転量もあるので、最初は圧倒されましたが、3ゲーム目からは台の前につくようにしました。最後まで自分の戦術を突き通すことが出来たのが良かったです」



準優勝
永尾堯子(アスモ)
大きな体躯を活かした威力十分の両ハンドドライブが冴えた



Best 4
加藤杏華(十六銀行) ドライブやスマッシュを使い分けた攻撃で先制した
前田美優(日本生命) フットワークを活かし、ピッチの速いプレーを見せた



Best 8
8位 森蘭美咲(日立化成) 7位 平野容子(豊田自動織機) 6位 森さくら(日本生命) 5位 田代早紀(日本生命)

Doubles

女子ダブルス優勝

平侑里香・松本優希(サンリツ)
高い打点の量み掛けるような攻撃で初優勝を飾った
「素直に嬉しいです。決勝では、相手に勢いがあって、1ゲーム目を簡単にまけてしまいましたが、最後は気持ちだと切り替えることができたのが、優勝につながったと思います」
「全日本という名目の試合で1番を取ったことがなかったので、すごく嬉しいです」



Best 4
土井みなみ・土田美紀 コースを巧く突きながら、威力のあるフォアドライブで得点を重ねた
田代早紀・前田美優(日本生命) 積極的に攻撃を仕掛けながら、ラリー戦に強さを見せた
準優勝 土田美佳・宋恵佳(中国電力) 宋の回転量の多いドライブと土田の変化のあるバックハンド攻撃がハマった

権大会

男子シングルスは、上田仁(協和発酵キリン)が昨年に続き2連覇を果たした。さらに、男子ダブルスでは松平賢二・上田仁(協和発酵キリン)が同じく2連覇で、上田は2年連続2冠を達成した。女子シングルスは、昨年決勝で涙を吞んだ森蘭美月(サンリツ)が激戦を制して優勝を飾った。準優勝は前大会チャンピオンの天野優を破り、強豪を破って勝ち上がった永尾堯子(アスモ)だった。女子ダブルスは、ピッチの速いプレーが光った平侑里香・松本優希(サンリツ)が涙の優勝を決めた。

Men's Singles

男子シングルス優勝
上田仁(協和発酵キリン)
バックハンドで緩急をつけて相手を崩しながら打点の早いフォアハンドで仕留めた
「昨年2冠で今年ももちろん狙ってはいましたが、まさか出来るとは思っていませんでした。結婚をしてから初めてのタイトルだったのでそれが一番嬉しかったです。レベルも高いので、プレッシャーもあるなかで、勝てたのは価値ある優勝だと思います。どの試合も苦しかったですが、張さんには圧倒的に分が悪かったので、それを乗り越えたことで勢いに乗れたと思います。会社の方をはじめ、様々な方がサポートしてくださり、また大学時代を青森で過ごしたので、地元の方が応援してくださったので、力になりましたし、苦しい場面で頑張れた要因だと思います。」



上田仁が
2年連続2冠達成



Best 4
平野友樹(協和発酵キリン) 何度でも食らいつくフットワークとラリー戦に強さを見せた
村松雄斗(東京アート) 切れ味鋭いカットと逆襲攻撃が光った



準優勝
高木和卓(東京アート)
威力のあるフォアハンドで積極的な攻撃を仕掛けた



Best 8
8位 伊積健太(岡谷市役所) 7位 横山輝(原田鋼業) 6位 森田侑樹(シチズン) 5位 加藤由行(株フジ)

Doubles

男子ダブルス優勝

松平賢二・上田仁(協和発酵キリン)
サービスレシーブで先手を取り、優位な試合展開を見せた
「最初から2連覇しか狙っていませんでした」と松平
「しっかりと作戦を練って試合に臨むことができたので、それが大事な場面でかみ合っただけで結果につながったと思います」と上田



Best 4
塩野真人・村松雄斗(東京アート) カットもさることながら、カウンターや後陣からのドライブの巻き返しも見えがあった
濱川明史・松下海輝(日鉄住金物流) 思い切り攻め、息の合ったプレーを見せた
準優勝 久保田隆三・軽部隆介(シチズン) ラリー戦が長く、後陣でのプレーも光った